

第 5 回評価委員会の議論をふまえた評価結果（案）の主な変更事項

区 分	内 容
教育	p 12 入学試験制度変更の検証及び再検討 ⇒「その他の学部についての記述はなかった」という表現を削除。 ⇒「入学試験の結果をどのように自己評価しているのかが不明である。」という表現を「入学試験の結果をどう総括し自己評価しているのかについて表明する努力を進められたい。」という表現に改めた。 p 15 内定を得られていない学生への就職支援 ⇒「しかしながら、支援の結果就職率はどのように推移したのか、全国の国公立大学に比して支援は十分なのか、など自己評価をしっかりと行いながら推進すべきである。」という表現を「今後とも、就職率の推移や全国の国公立大学の支援の状況を踏まえた自己評価を行いつつ、引き続き、就職支援の充実について推進されたい。」という表現に改めた。
研究	p 17 研究費・処遇等への反映に向けた教員の研究成果の評価に関する具体的検討 ⇒遅れている項目から削除 p 18 各研究科の特徴に基づく先端・共同研究の推進と社会貢献の展開 ⇒業務実績報告に際して記載の工夫が必要である旨を意見・指摘事項として、新たに追加
附属病院	p 23 コードホワイトシステム（暴言・暴力などで医療従事者がなんらかの身体的または心理的な「脅威」を感じた際に職員を緊急に招集するシステム）の運用 ⇒「今後はトラブルがあった時の警察への通報、弁護士への相談体制まで視野に入れた準備を進められたい。」という表現を削除。

情報システム	p 25 学生の就職活動の進捗状況を把握する就職支援システムの導入 ⇒「増加したことについての記述はあるものの、当初設定された課題である就職活動の進捗状況把握については記述がなされていない。就職活動の進捗状況把握についてどれだけ改善されたのかについて示されたい。」という表現を「増加してはいるものの、当初設定された課題である就職活動の進捗状況把握についても、今後改善に努められたい。」という表現に改める。
業務運営	p 26 項目評価結果を「C」から「B」に変更 p 26、27 社会的要請に対応するための教員組織の見直し ⇒遅れている項目、評価が異なる項目から削除 p 27 市立大学事務職員の固有職員化 ⇒市立大学としての固有職員政策における長期的展望の確立が必要なものとして例示列举したものから「将来の退職金支給のための財源の安定的な確保」を削除。
その他の 業務運営	p 32 ハラスメント講演会の開催及びハラスメント対応システムの見直し ⇒「市立大学としてハラスメントの件数を把握し、現状の正確な認識を踏まえて、ハラスメント対策を立案すべき」旨、記載。